

源右衛門藏

宝塚の古文書を読む会編（二十七）

目次

会報名の由来	4
解読文	
凡例	6
御触書訴状控（文化十五年）（その二）（前号からの続き）	7
・浜御屋舗御家中へ作り初穂控	
・寅中勘定 納辻百三拾八石九升壹合	
・乍恐口上（諸荷物継立出入手続、道場駅より小浜駅への文書引戻願	
・覚（道場駅ニテ継立茶荷物の蔵鋪	
・当（道場河原） 駅より附出候諸荷物の口米錢取締	
・乍恐口上（道場駅より小浜 ^江 被書渡候新規書附之儀	
・式歩判之儀（御年貢并諸向上納金、世上通用之儀	
・金銀掛ヶ合候分銅	
御触書訴状控（文政三年）	17
・検見当り毛控	
・金屋伝兵衛弟与兵衛、当村百姓嘉兵衛方へ同家願	
・覚（状箱二、昆陽町・中山寺境内迄相届	
・御普請御入用銀五畿内村高 ^江 割賦候	
御城代松平右京、昆陽・中山寺御巡見	
・東海道・中山道・甲州道人馬賃錢・船賃割増錢	
・唐物売買手板之儀、御触	
・嘉千代様御逝去、鳴物御普請停止之事	

寄稿文

西谷村と宝塚市の合併	金山 真樹	28
長尾山肝煎について	北田 彩加	37
『西遊草』の旅と帯屋	谷川やす子	64
平井村の庚申さん	乾 文男	74
詩吟「青葉の笛」	櫛田 育子	84
私の絵日記	杉本 和子	86
「没後一〇〇年 富岡鉄斎」展を観てー鉄斎の落款に挑戦ー	森本 敏一	94
大坂・天満 川崎東照宮 二人の大権現と萩の橋	東 昭	100
江戸時代を通して見た「グローバルな時空」	大村 剛	106
「暖簾分け」について	芳木 純一	112
ほんのひとときー奥のほそ道をたどってみたー	山下須美雄	122
古文書とパソコンとの付き合いー会誌『源右衛門藏』発刊に携わって	藤本 清志	129
古文書の学習で感じた疑問点と今後の学習テーマ	小江 秀保	135
読書会Ⅱに参加して	萱原 多香	142
なぜここに來たのか	木村 悦子	145
入会して一年経ちました	富田 安信	148
「歴史は踊る」ーされど牛歩の如くー	増留めぐみ	150
編集後記	世話人一同	153

◆ 表紙題字 書道家	松本 恵泉さん	
------------	---------	--

発行人

「宝塚の古文書を読む会」

世話人

乾 文男

岡本 育郎

川田和香子

谷川やす子

中安 章夫

藤本 清志

森田 寛

連絡先

宝塚市清荒神一丁目二番

宝塚市立中央図書館市史資料室

電話 〇七九七―八五―〇六四八

発行日

令和七年（二〇二五）六月二〇日

印刷所

株式会社 大塚印刷

大阪市北区大淀南二―六―三島田ビル三F

電話 〇六―六四五一―四五七七

FAX 〇六―六四五一―三七八六

Email: otk@violin.ocn.ne.jp